

公益社団法人日本吹奏楽指導者協会

倫理・コンプライアンスについて

コンプライアンスとは法令順守を意味しますので、コンプライアンス違反とは、「社会的倫理観や規範に違反する行為」「不正、不平等な業務を意図的に遂行する行為」をすることはご存知と思います。このような行為を組織内や学校、指導団体などで起こしてしまうと信頼の低下だけではなく、最悪の場合はその人の破綻にまで発展することも考えられます。私たちは違反の未然防止と早期発見のしくみづくりに努めるが肝要と思います。「法令を守れば良い」ということだけではなく、全てにおける倫理や社会規範などに従い、公正・公平な中で組織運営や各種指導を行うという意味も含まれることを忘れてはいけません。

近年のコンプライアンスが注目を集める主な理由として

- (1) 個人情報保護など様々な分野で法規が強化され、今後も予想される法改正や強化のために組織や指導者としての対応力を高めるようになった。
- (2) 社会的責任を果たして組織や個人としての信頼を築くために、重要な手段として捉えるようになった。
- (3) 少子高齢化が社会問題化している中で、グローバルな環境で交流を深めるようになった。
- (4) 法令や規則の変更が頻繁に行われている中で、自身の知識や常識の中に最新情報が把握できないことが多くなった。
- (5) 生活空間にコンプライアンス体制が整わない場合や、問題発生時の対策が不十分な場合など、責任の所在が曖昧になり適切な対応ができなくなった。

JBAとして対応をするために

- (1) 規定やマニュアルの作成
- (2) 法改正に関する情報を収集
- (3) 相談できる環境を整える
- (4) 研修を通じて理解を深める

など、必要と思われる項目を精査しながらホームページやクリニック、広報誌でお伝えいたします。また、情報を収集し、「気づかないうちにコンプライアンス違反になってしまった」という事態を防ぎたいと考えます。

近年の身近なハラスメント事項と指導者の立場

相手の立場から「大きな声で叱責された」「メンバーから外された」「指導をしてもらえなかった」「体への不必要な接触をされた」「かけ離れた練習を強要された」「おまえと呼ばれた」「あんたと呼ばれた」など、何気ない言動も今は、指導者として一つ一つを説明しなければならない立場になります。

- (1) 優位的な関係を背景とした言動
- (2) 業務上必要かつ相当な範囲を超えたもの
- (3) 相手の環境が害されるもの

などにはかなりの配慮が必要となり、その言動は慎まなければなりません。今後は協会として「問題行動をしてしまう自分に気づかせる」ことに着眼をして、皆様方と共にコンプライアンス違反が発生しにくい、発生しない環境作りを考えると同時に、メンバーの思いを理解できる指導者の組織を目指したいと思います。

ハラスメントの三悪
1、暴言 2、セクハラ 3、要求

素直な叫び

「私たちは人形ではない、理不尽な指導はやめてほしい」「小さなことでも隠さずに対応し、文武両道を目指せる学校をつくってほしい」

私たちは、部活動をすることで「仲間とコミュニケーションがとれ絆を深めることができる」「仲間と切磋琢磨することで自分自身も成長できる」「礼儀が学べる」など、たくさんの良い点があることを実感しています。しかし同時に「指導者に自分の意見が言いづらい」「勉強との両立が難しい」「指導者同士の指導方針の違いで戸惑う」など、多くの困りごともあります。たくさんの仲間が指導者と信頼関係を築けている一方で、ハラスメントに苦しむ仲間がいることを知っています。このような状況の中、「暴力・暴言・ハラスメントゼロの部活動」を実現するために部活動への希望と期待を込め、次のメッセージを発信します。

指導者へ

- ・私たちとコミュニケーションを取りやすい環境を作してほしい。
- ・私たちの意見が尊重されるチームを一緒に作りたい。
- ・私たちは人形ではない、理不尽な指導をやめてほしい。
- ・互いで決めた目標に向かってハラスメントの無い指導をしてほしい。
- ・同じチーム内での指導者同士の指導方針の違いを無くしてほしい。

学校へ

- ・私たちが安心して活動できる安全な環境を作してほしい。
- ・指導者を集めて、指導方法を改めて確認してほしい。
- ・定期的に部活動のハラスメント実態調査を実施してほしい。
- ・小さなことでも隠さずに対応し、文武両道を目指せる学校を作してほしい。

部活生仲間へ

- ・先輩後輩関係なく、悩みがあれば相談し合おう。
- ・互いに切磋琢磨しながら成長していこう。
- ・支えてもらっているすべての方に感謝し日々取り組んでいこう。
- ・自分の発言で仲間が傷ついていないか考え、ポジティブな発言を心がけよう。

保護者へ

- ・私たちの成長を見守ってほしい。
- ・私たちの部活動に関心を持ってほしい。
- ・私たちの声に耳を傾けてほしい。
- ・私たちの味方でいてほしい。

吹奏楽活動に関わる全ての人たちが互いを尊重し合い、協力しながら私たちの手で組織作りをしましょう。